

平成27年度 入学試験問題 (第3回A)

国語

注意事項

1. 試験時間は50分間です。
2. 問題は1ページから9ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

吸血コウモリ（チスイコウモリ）はあわれにも誤解されっぱなしだ。そろそろその誤解を正してやってもいいころだろう。ブラム・ストーカーの小説やドラキュラ伯爵^{はくしゃく}、もろもろの悪のイメージはさておいて、じつをいうと、吸血コウモリはきわめて社会的な動物で、すくなくとも彼らが最も関心をもってゐるもの——血液——にかんしては、まことによく助けあう。吸血コウモリとして生きていくのはなまやさしいことではない。そのことは理解してやるべきではなからうか。なにしろ彼らは、四八時間から六〇時間ごとに新しい血液を食事として摂^とらないと飢^うえ死にってしまうし、そんな結果になることもめずらしくないのだ。事実、①その特徴が、行動生態学のあらゆる論文に、最も興味深い互^{ごけい}惠的な関係の実例を提供してきた。

A、コスタリカの吸血コウモリ。空洞^{くどう}のある木に住んでいるごくふつうのグループには、八匹から一二匹の雌^{めす}がいる。ジェラルド・ウイルキンソンは、このようなグループを一五年以上にわたって研究した。それらの雌たちのあいだに親密な関係が長期的に存在し、なかには三年以上も一緒に暮らす個体までゐるのはなぜかを解明するためだ。ウイルキンソンは多くの仮説を立てたが、データから、②長期的な関係を結ばずにはいられない決定的な要因があることがわかった。ねぐらにゐるコウモリが餌^{えさ}を摂りそこねて餓^が死する危険があると、雌たちはたがいに血液を吐きだしてあたえるのだ。

ウイルキンソンは以下の三つの理由から、吸血コウモリはたがいに血液をあたえあうだけでなく、空腹に苦しむコウモリのうち、どれに血液をあたえ、どれにあたえないかを決めるのに、互惠的な関係を重視していると考えた。第一に、しつぺ返し戦略のモデルどおり、吸血コウモリは長期間ねぐらの仲間と相互にかかわりあう可能性がかなり高く、その結果、互惠的な関係が機能しただけの※タイムフレームができる。第二に、ウイルキンソンが得た証拠によると、吸血コウモリはたがいを認識する能力と過去の行動を記憶する能力をもち、それが吸血コウモリの(a)ソシキのなかで互惠的な関係が起こるのに必要な認知機構の(b)ヤクワリをはたす。最後に挙げるが決して軽んじられないのは、互惠的な※利他的行動についての※トリヴァースの考えどおり、餌を手に入れること(利益)はこのうえなく重要であるのにたいし、ねぐらで餓死寸前の仲間に血液を提供する※コストは、おそらく最小限ですむ。

B、ウイルキンソンが血液の分配を詳しく調べたところ、個々の吸血コウモリは、自分が飢えているときに血液の餌を分けてくれたコウモリに、自分が得た資源をあたえる傾向が非常に大きかった。だがウイルキンソンはこういった親密な関係を観察しただけではなかった。彼は(c)コトなる二つの場所からコウモリを集めてきて、それらを一緒にし、さまざまな個体を飢えさせ、餌の血液のやりとりを観察して、互惠的な関係の状況をテストしてみたのである。一本の木のねぐら(住みか1)でおとなの雌のコウモリを四匹つかまえ、五〇キロはなれた別の場所(住みか2)で五匹のコウモリ——おとなの雌が三匹、おとなの雄^{おす}が一匹、幼い子供が一匹——をつかまえた。住みか1で採集された四匹の雌は、このテストがはじまるまで一緒に暮らしていたし、住

みか2の雌三匹と子供一匹も一緒に暮らしていた。③だが住みか2で採集された雄は、住みかの同じ三匹の雌のどれとも相互のかかわりはなかった（つまり、彼はこの実験に使われたどのコウモリのこととも知らなかった）。

二つの住みかから採集されたコウモリを一方所に収容すると、ウイルキンソンは計画的に、每晚一匹の個体に血液をやるのを控え、各個体が飢えを二回経験するまで、これをつづけた。その結果、餓死寸前の（すなわち餌がなければ二四時間以内に死ぬことになる）コウモリにのみ、ほかのコウモリが血液をあたえることがわかった。だが肝心なことは、餓死寸前の個体に血液をあたえるのは、住みかにいるところから知り合っていたコウモリだけだったことだ。住みか1の雌は住みか1の雌にしか餌をやらず、住みか2の雌は住みか2の雌と子供にしか餌をやらなかった。あわれにも、④住みか2の雄はだれからも助けてもらえなかったのである。さらに彼らは、自分の住みかからきた個体のなかでも、特定の個体に、つまり自分が血液を必要としたときに助けてくれたコウモリに血液をあたえる傾向がきわめて強かった。もちろん、この場合のようにポイントとなるデータがひとつしかない実験から引き出せることにはかぎりがあるが、こうしたデータは⑤互恵的な関係のモデルとしてかなり広範囲に適用できる。

吸血コウモリの例は、互恵的な関係による協力行動というゲームに大きな利害がからむことを示している。ずるいやつというレッテルを貼られたら最後、餓死寸前という状況でも、だれもたよることができない。こうした大きな利害がからむゲームは、家族の者にも危険をおよぼす場合がある。この点をたしかめるために、「雄のあぶれ鳥^{フローター}」という現象を見てみよう。多くの(d)シユの鳥にいえることだが、繁殖期^{はんじやく}に利用できる巣の数はかぎられている。繁殖期に入った雄のなかには、巣をつくるのに適当な縄張りを(e)カクホできず、その年は配偶者を見つけれない運命に陥る者がいる。そのような状況に追いこまれたフローターは、縄張りから縄張りへとさまよい歩き、将来の営巣地を物色するだけでなく、ときには巣づくりに成功した幸運な鳥たちに混乱を引き起こすこともある。

ふつうに考えれば、縄張りの主は当然、常にフローターを近寄せないはずだ。よくてもフローターはその巣を乗っ取れるかどうか偵察しているのだし、最悪の場合は直接脅威^{きょうい}をもたらすからだ。C 実際は、縄張りの主はフローターを大目に見ている。というのも、フローターは偵察中の巣に危険が差し迫ると救助してくれることがわかっているからだ。雛^{ひな}がたくさんいて捕食動物にねらわれやすいときには、じつに重宝な存在なのだ。だが、捕食動物が近くにいないときにフローターが攻撃的なふるまいに出れば、巣のか弱い雛たちは、まさに⑥あつらえ向きのいけにえである。※マイケル・ロンバードはミドリツバメについて調査し、繁殖中の鳥とフローターの双方が「※囚人のジレンマ」に直面すると思われるので、※TfT戦略をもちいる可能性がある

論じた。

ロンバードはまずフローター側の詐欺的行為をシミュレーションしてみた。繁殖中の鳥の縄張りに、そつとフローターのぬいぐるみを忍びこませ、それから縄張りの主の行動を記録した。最初のうち、縄張りの主であるつがいの親鳥は、ぬいぐるみにたいしてさほど攻撃的な反応を見せなかった。つぎに、ロンバードは生きている雛を二羽、巣から盗み、かわりに死んだ雛を二羽、巣に入れた（ロンバード自身は一羽も雛を殺さなかった）。雛を盗むときに、ロンバードはフローターがひどい仕打ちをしている物音を真似してみせた。親鳥たちはこの恐ろしい運命の逆転に気づくと、すぐさま激しく反応し、フローターを縄張りから追放した。

D、フローターはざるをはたらけばただちに縄張りから追放されるのだ。だが、縄張りの主の側の微妙でこまやかな心の動きを反映して、事前の知識からフローターが犯人でないとわかった場合には、追放の憂き目にあわずにすんだ。

ロンバードのミドリツバメの話で未解決のなぞは、ミドリツバメにとって、いったいどのような利益があれば、フローターが二羽の雛を殺したことの埋め合わせになるかである。しばらく時間がたつと、縄張りの主は雛を殺したフローターを「ゆるす」らしい。結局のところ、フローターを身近において、将来攻撃してくる捕食動物から巣を守る手伝いをさせることがきわめて重要なために、雛殺しの犯人とわかっているフローターでも、ふたたび縄張りに入れてやるに値するということなのだろうか？

（リー・ドガトキン著 春日倫子訳「吸血コウモリは恩を忘れない 動物の協力的行動から人が学べること」より）

〔語注〕

※タイムフレーム……………物事を行うための必要な期間。

※利他的行動……………自分を犠牲にして相手の幸せを優先する行動。

※トリヴァース……………アメリカの生物進化学者。

※コスト……………費用。ここでは手間の意味。

※マイケル・ロンバード……………生物学研究者。

※囚人のジレンマ……………ゲーム理論や経済学における概念の一つ。「互いに協力する方が裏切り合うよりも良い結果になることが分かっている、皆が自身の利益を優先している状況下では、互いに裏切り合ってしまう」というジレンマ。

※T f T戦略……………裏切られるまでは協調路線、裏切られたら裏切り返すという「しつぺ返し」戦略のこと。

問1 線(a)と(e)のカタカナを漢字で書きなさい。

問2

A
D

に当てはまる最も適当な語句を、次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア たしかに イ こういうわけで ウ たとえば エ だが

問3 線①「その特徴」の内容を具体的に答えなさい。

問4 線②「長期的な関係を結ばずにはいられない決定的な要因」の内容を答えなさい。

問5 線③「だが住みか2で採集された雄は、住みかの同じ三匹の雌のどれとも相互のかかわりはなかった」とありますが、ウィルキンソンが、このコウモリを観察したのは、どのようなことを調べるためですか。

問6 線④「住みか2の雄はだれからも助けてもらえなかったのである」とありますが、その理由を答えなさい。

問7 線⑤「互恵的な関係」とはどのような関係ですか。わかりやすく説明しなさい。

問8 鳥の巣の主がフロッターを追い出さないのはなぜですか。その理由を「から」という言葉に続くように本文中から探し、二十二字で抜き出しなさい。

問9 線⑥「あつらえ向き」の意味として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 要求に合う イ 悲しい思いをする ウ 落ち着かない エ 納得する

問10 線⑦「この恐ろしい運命の逆転」とはどのようなことですか。

問11 次のア～エについて、本文の内容と合うものには○、合わないものには×を答えなさい。

ア 吸血コウモリは転々と巣を移動するため、家族以外のコウモリとは親密にならない。

イ 住みか1のコウモリは、住みか1のコウモリにしか血液を与えなかった。

ウ 住みか2の雌のコウモリは、住みか2のコウモリすべてに血液を与える。

エ ミドリツバメは、雛がフロッターから攻撃されるとすぐに巣から追い出すが、最終的にはフロッターを許してあげる。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

キャリー伯母おばさんは、わたしには大伯母にあたる人。うちの洗濯機せんたくきがとても気に入っていて、ごつとん、ぶーんと動いているそばで、よく子どもころの話をしてくれたものだ。「昔はこういうものはなかったのよ……」と。そのころは、洗濯機のかわりに、大物を煮洗にあらいする銅鍋どうなべ、手で洗えるものにはたらい、かきませ棒、しぼるためのローラー、大きな四角い黄色のせつけん、それにブルーバッグがあったのだそう。

伯母さんの①十八番おはちばんはブルーバッグとスポットの話で、スポットというのは、伯母さんが子どもころに飼っていた犬の名前。ブルーバッグは、そう、文字どおり、袋バック入りの青いものだった。

②角砂糖を大きくしたような形だね。真つ青で、白い木綿もめんの袋ふくろに入れて売っていたの。白いものを洗濯するとき、すすぎに入れると水が青くなって、白いものもつと白くなったのよ。わたしの母さんは洗濯用に使っていたけれど、③使い道が、もうひとつあったの。「ここまで話すと、伯母さんは、「それはあとで教えるわね」と謎めかして言うのがつねだった。

昔、ある晴れた夏の日、キャリーはすることがなくて退屈たいくつしていた。そこで、スポットをA眺めまわした。スポットは、全体に白くて、ところどころに茶色と黒の点々スポットのある小型犬。スポットはキャリーが大好きだった——お風呂ふろの日をのぞいては、キャリーはスポットにこう話しかけた。

「ねえ、スポット、おまえ、ふわふわになりたいんじゃない？ ね、きれいになりたいでしょ？ そうよ、そうにきまつてるわ！」

もしもスポットに口がきけたら、こう答えたらう。

「キャリー、ちがうよ！」

スポットは、飲み水以外の水が大嫌いだった。庭の向こうにある養魚池だいきらさえ、④うさんくさそうに見ていたくらいだ。上のほうは澄すんでいるが、底には泥どろがたまり、水草が勝手に根をおろしている池の水は、犬にしてみれば水らしい水のはずなのに。ましてや芝生しばふに置かれた古いブリキの湯船と、ほーっと湯気を立てているきれいなお湯のくみあわせを見ると、スポットはぞーっとした。これからお風呂、とちゃんとわかったからだ。

⑤キャリーが思いついたのはまさに、それだった。そこで、犬用のいちばん長い鎖くさりをスポットの(a)首輪くびわにかちんとはめ、反対のはしを芝生のはずれのり

リンゴの木に結びつけた。スポットはこれで、逃げたくても逃げられなくなった。

次に、キャリーはブリキの湯船を芝生にすえた。それから、水差しにお湯を汲んで家と庭を行ったりきたりして、湯船をいっばいにした。スポットはすわって見ていた。耳をたらんと(b)垂らして。

キャリーはせっけんもブラシも持って来た。それから、あのブルーバッグも。ブルーバッグで白いシートがもつと白くなるなら、スポットの白い毛だつてもつと白くなるはず、と思つたのだ。

日ざしは強かったが、犬をお風呂に入れたあとは、手早く **B** ふいてやらなくてはならない。それにはタオルが必要だ。キャリーのお母さんは、みんなのタオルでスポットをふくの嫌がった。だから、お父さんは、スポットが泥んこになったり、くさくなったりして洗つてやるようなとき、汚れていない麻袋をタオルがわりにしていた(「麻袋ならどつさりあつたのよ」とキャリー伯母さんは説明した)。「お父さんが、家の裏手のリンゴ部屋で使つていた。秋に収穫したリンゴが冬のあいだ凍らないようにと、かぶせておいたのよ。家族みんなでだんだんにリンゴを食べ、一枚ずつ袋が用済みになると、ほこりを払い、ざつとたたんで、部屋のすみに(c)積んでおいたの」

そんなわけで、キャリーは、袋を取りにリンゴ部屋に行った。夏だから、もちろんリンゴはもうなくて、がらんとした部屋のすみに袋が積んであるだけだった。冬場、リンゴ部屋はとても寒い。でも、その日はむつとするほど暑かった。ひとつきりの窓は、ずいぶんまえに外から板を打ちつけて開かないようにしてあり、ガラスが割れたままのところ、唯一の(d)通気口になっていた。ハチが一ぴき、そこから出ていくのが見えた。リンゴのないリンゴ部屋でも、ハチには居心地のよい場所だったのである。入れちがいに、また一ぴき、入ってきた。

重なった袋のいちばん上のは、ほこりっぽくは見えなかった。それでも、リンゴの葉や、軸などがくつついているといけないと思つたキャリーは、払つてから使うことにした。そこで、袋のふちをしつかりつかみ、ぐいとひっぱつて、その勢いで大きく振った。(キャリー伯母さんは、聞き手をはらはらさせるのが好きで、ここまで話すと、かならず、ちよつと黙つてから、こうきいたものだ。「麻袋をね、ばさつと振るのに、どれくらい時間がかかると思う?」一秒かしら?」二秒?」それとも三秒?」)

ごみが目に入ると嫌だったので、キャリーは、そっぽを向いて袋を振ろうとしたが、なんだかいやいな予感がした。持ったときの感じが変だったのかも。しれない。とにかく、振りあげた袋に目をやつたと同時に手を放した。

あるものが袋から投げだされ、がさつとこわれた。たたまれた袋の間に、ハチがこつそり巣を作っていたのだ。その巣は、まるくて、灰褐色で、大きさは子どもの頭くらいあった。キャリーの手をはなれた袋が、リンゴ部屋の向こう側へ飛び、ハチの巣から薄い紙のようなものが、**C**はがれ落ちた。巢の、薄い壁や、薄い天井の破れ目に、長さがキャリーの親指の爪ほどの虫——もつと小さいもの——がくねくね這いまわっていた。翅のあるのもいて、それらが宙を飛びはじめた。

黄色に黒い横じまのあるハチ……狩りバチだ！ ハチの数は増えた。どんどん増えた。そんな大群を、キャリーはそれまで見たことがなかった。

「そのあとだつて見てませんね」とキャリー伯母さんは言った。「ほんとにぞつとしたわ。生きたハチの棲んでる巣を、あんなに近くで見ると、こんりんざい、ごめんですよ……」

ほんの二、三秒ほどのあいだに、キャリーの手から袋が飛び、キャリーがリンゴ部屋を飛びだし、そのあとを追ってハチが飛びはじめた。キャリーは全速力で走った。それでも、部屋の出口で、早くも二ひきか三ひきのすばしこいのに追いつかれ、刺された。着ていたのが袖なしのワンピースで、**(e)**素足だったから、ハチは簡単に刺せたのだ。

キャリーは、突然駆けだしたにしては驚くべきスピードで走った。それなのに、ハチはあつさり追いついた。キャリーは、リンゴ部屋から母屋へ続く廊下を走りぬけた。どうやら**(6)**金切り声をあげていたらしく、その証拠に、それにこたえてスポットが遠くでめちやくちやに吠えていた。もちろん、家の人も騒ぎは聞こえたはずだ。けれども、階段を駆けおり、廊下を走るキャリーには、お父さんは見えなかった。お父さんも、キャリーを助けようとはしたのだろうか、追っ手が狩りバチ軍団と知って退却したらしい**(7)**賢明な判断というものでしたよ、とキャリー伯母さんも認めた。そして、「池だ！」とどなったらしいが、キャリーには聞こえなかった。

とにかく、キャリーは廊下をつつぱしり、開いている戸から庭の芝生に走りだした。芝生にブリキの湯船と、黄色いせつげんと、ブルーバッグが出ていた（それを使うつもりでいたのが、大昔のことみたいに思えたわ……）。スポットが、鎖を引きずりながら、跳びはね、走りまわり、金切り声で吠えまくっていた。スポットも、賢明にもハチの通り道避け、鎖のゆるすかぎり反対側に逃げていた。

キャリーは一秒たりとも足を止めなかった。芝生をよこぎり、庭をつつきり、果樹園を駆けぬけた。そこに池があった。キャリーはまっすぐ飛びこんだ。飛びこんで、どンドンもぐった。もう頭まで水の中だ。**(8)**うれしくて、笑いたい気分だったが、もちろん、水の中では笑えっこない。しばらくして水か

ら顔を出してみると、何びきかのハチが水に浮かんできて、もがいていた。キャリーのワンピースや、髪（かみ）の毛や、皮膚（ひぶ）にしがみついていたのが落ちたものらしい。そして、水面近くでもっとたくさんハチが、あわてふためいたように飛びまわっていた。

やっぱりもぐつていよう。キャリーはもぐった。なんども、もぐった。息つきをするため、なんどめかに顔を出したとき、ハチはようやくいなくなっていた（⑨）ひよつとしたら、と期待していたハチも、とうとうあきらめたみたいで、不満そうに巢へ飛んでいくのが遠くに見えたわ）。

キャリーはやつと池から這いあがった。頭（かぶ）のてっぺんから足の先まで泥んこ、水草がからみついていた。よろよろ立ちあがり、ハチに追いついてしまわないよう、ゆつくりと母屋のほうへと歩きはじめた。水を吸った靴（くつ）が、ぐじゅつ、ぐじゅつと音をたてた。

お母さんが——やっぱりハチの通り道を避けて——大いそぎでこっちへきたが、泥んこのキャリーが見えたとたん、「お風呂の用意をしなくちゃ！」と叫（さけ）んで、もどつていった。お父さんはどうかというと、スポットを放してやり、湯船とブラシとせっけんとブルーバッグを片づけはじめていたが、そばまできたキャリーを見て、ブルーバッグを差しだした。「かわいそうに、こいつがいりそうだな！」

キャリー伯母さんは、ここでもならずにつこりした。そして、動いている洗濯機の音に負けないくらい、声を張りあげた。

「あとで教えるって、言ったでしょ？ ブルーバッグのもうひとつの使い道よ。わからない？ どう？ 昔はね、虫刺されにも使ったの。母さんが、ぬらして青くして、刺されたところに **D** 塗（ぬ）ってくれたの。痛みどめと、はれどめにね。」

それだから、お風呂から出てきたときのわたしときたら、顔から、腕（うで）から、足から、もう青い点々だらけ。スポットが、めずらしそうに見にきましたよ。

父さんは、⑩ ひょうきんなことを言う人だね——自分でそう自慢（じまん）していたのよ——このときもわたしとスポットを見くらべて、『おまえたち、よく似てるなあ！ 点々（まがた）だらけで、どっちがどっちか、わからんよ！ そうか、こっちがへ娘（まがた）の スポット、こっちがへ犬（いぬ）の スポット』だわ！』なんて言ったの！』話（わ）しおわると、キャリー伯母さんはほころ笑（わ）った。けれども、ときには真面目（まじめ）な顔でこう言（い）ったりした。

「そのときは、笑うどころじゃなかったけどねえ」

（フィリップ・ピアス著・片岡しのぶ訳「8つの物語——思い出の子どもたち」より）

問1 ……線(a)～(e)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問2

A

～

D

に当てはまる最も適当な語句を次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ペたぺた イ ごしごし ウ ぼろぼろ エ じろじろ

問3 —線①「十八番」・④「うさんくさそう」・⑥「金切り声」・⑩「ひょうきん」の意味として正しいものを次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | |
|-------------|---------|------------|----------|--------------|
| ① 「十八番」 | ア 過去の話題 | イ 話したくないこと | ウ 得意とする話 | エ 自分から話したいこと |
| ④ 「うさんくさそう」 | ア あやしそう | イ 怖そう | ウ 楽しそう | エ においがしそう |
| ⑥ 「金切り声」 | ア 軽やかな声 | イ かん高い声 | ウ 重みのある声 | エ 声にならない声 |
| ⑩ 「ひょうきん」 | ア まじめ | イ 怒りっぽい | ウ つまらない | エ おもしろい |

問4 —線②「角砂糖を大きくしたような形」に使われている表現技法を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 体言止め イ 比喩^{ひゆ} ウ 擬人法 エ 擬態語

問5 —線③「使い道が、もうひとつあったの」とありますが、「洗濯用」以外のもうひとつの使い道とは何ですか。

問6 —線⑤「キャリーが思いついたのはまさに、それだった」とありますが、キャリーが思いついた内容を答えなさい。

問7 —線⑦「賢明な判断というものでしたよ」とありますが、お父さんの判断が賢明と言えるのはなぜですか。

問8 —線⑧「うれしくて、笑いたい気分だった」とありますが、キャリーがそのような気分になったのはなぜですか。

問9 —線⑨「ひょっとしたら、と期待していたハチ」とありますが、ハチが期待していたのはどのようなことですか。

問10 話の場面が過去に移ったところを本文中から探し、最初の五字を抜き出さない。(句読点も含みます)

帝京八王子中学校

平成27年度 入学試験問題

解答用紙 (第三回 A)

国語

受験番号

氏名

一	問 1	(a)		(b)		(c)	なる	(d)		(e)	
	問 2	A		B		C		D			
	問 3										
	問 4										
	問 5										
	問 6										
	問 7										
	問 8										
	問 9										
	問 10										
	問 11	ア		イ		ウ		エ			

二	問 1	(a)		(b)	らし	(c)	んで	(d)		(e)	
	問 2	A		B		C		D			
	問 3	①		④		⑥		⑩			
	問 4										
	問 5										
	問 6										
	問 7										
	問 8										
	問 9										
	問 10										

点

帝京八王子中学校

平成27年度 入学試験問題

解答用紙 (第三回 A)

国語

受験番号

氏名

模範解答

一		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点	
問1	(a)	組織	(b)	役割	(c)	異なる	(d)	種	(e)	確保					
問2	A	ウ	B	ア	C	エ	D	イ							
問3	四八時間から六〇時間ごとに新しい血液を食事として摂らないと飢え死にしまうこと。														
問4	コウモリが餓死する危険があると、雌たちはたがいに血液を吐きだしてあたえること。														
問5	かかわりのないコウモリにも血液をあたえるのか調べるため。														
問6	コウモリは、住みかにいるころから知り合っていたコウモリにしか、血液を与えないから。														
問7	お互いに利益を与え合う関係														
問8	偵察中の巣に危険が差し迫ると救助してくれるから														
問9	ア														
問10	偵察中の巣にいる雛を救助してくれるはずのフローターが、雛を攻撃してしまうこと。														
問11	ア	×	イ	○	ウ	×	エ	○							
二		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点		各2点	
問1	(a)	くびわ	(b)	たらし	(c)	つんで	(d)	つうきこう	(e)	すあし					
問2	A	エ	B	イ	C	ウ	D	ア							
問3	①	ウ	④	ア	⑥	イ	⑩	エ							
問4	イ														
問5	ハチに刺されたところに痛みどめとはれどめとして塗る。														
問6	スポットをお風呂に入れてあげようということ。														
問7	キヤリーを助けに行ったら、お父さんもハチに刺されたかもしれないから。														
問8	ハチから逃げ切ったと思ったから。														
問9	キヤリーが水の中から出てくるのではないかということ。														
問10	昔、ある晴														
点															

平成 27 年度 入学試験問題 (第 3 回 A)

算 数

注 意 事 項

1. 試験時間は 50 分間です。
2. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) $172 - 248 \div 4 + 12 \times (17 + 9) =$

(2) $(12 \times 1.125 + 8 \times 0.25) \div 2.5 =$

(3) $\left\{ \left(\frac{4}{5} + \frac{2}{3} \right) \times \frac{2}{11} - \frac{1}{5} \right\} \div \frac{7}{3} =$

(4) $0.025 \text{ kL} + 570 \text{ dL} - 3720 \text{ cm}^3 =$ L

<計算らん>

2 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) $1.4\text{t} = \text{ kg}$

(2) ある学年には生徒が72人います。全体の $\frac{5}{6}$ が電車を利用して登校しており、そのうちの $\frac{3}{4}$ がバスも利用しているそうです。電車もバスも利用している人は、 人です。

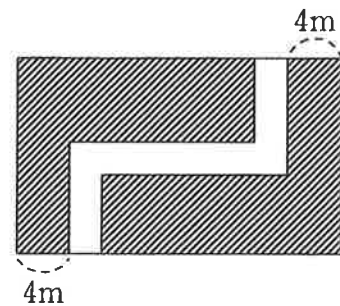
(3) 家ととなり町のきよりは7kmあります。ある日、Aくんは家からとなり町まで往復して、行きには1時間20分、帰りには1時間35分かかりました。Aくんの平均の速さは、時速 kmです。

(4) Tくん1人では16日、Hくん1人では20日かかる仕事があります。この仕事をTくんとHくん2人で共同で4日働いて、残りをHくん1人でした。この仕事は 日間で仕上がります。

(5) A, B2つの数があります。AとBの和は40で、AはBより6小さいそうです。このとき、Bの数は です。

(6) たて24m、横35mの長方形の土地に、はば2mの道を右の図のように作りました。

斜線部分の面積は cm^2 です。



<計算らん>

3 5で割ると2余る3けたの整数を考えます。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) これらの整数はぜんぶで何個ありますか。
- (2) これらの整数を全て足すといくつになりますか。

<計算らん>

4 数字の1～4が書かれた4枚のカードが箱の中に入っています。箱の中から1枚カードを取り出し、数字を確認したら箱の中に戻します。3回同じ数字の書かれたカードが出たら終了し、それまでに出了た数字の合計を得点とします。次の問いに答えなさい。

- (1) 最大何回カードを引くことができますか。
- (2) 最大で何点取ることができますか。
- (3) 4回目で終了し、得点が11点となる場合は何通りありますか。

<計算らん>

5 3%の食塩水Aと7%の食塩水Bがあります。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 360 g の食塩水Aと120 g の食塩水Bをまぜると何%の食塩水ができますか。
- (2) AとBの食塩水をまぜて5.5%の食塩水をつくるには、AとBをどのような比でまぜればよいですか。ただし、最も簡単な整数比で答えること。
- (3) ある量の食塩水Aと60 g の食塩水Bをまぜた後、熱して60 g 蒸発させたら9%の食塩水ができました。最初にまぜた食塩水Aは何 g ですか。

<計算らん>

6 金は 1 cm^3 あたり 19.3 g あります。ある貴金属店では金は 1 g あたり 4800 円で売っています。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 180 cm^3 の金は何 g ですか。

(2) この貴金属店で金を 1000000 円分買うと何 cm^3 買うことができますか。小数第 2 位を四捨五入して答えなさい。

<計算らん>

帝京八王子中学校

平成27年度入学試験問題
解答用紙 (第3回A)

算数

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	(1)		(2)		(3)		(4)	L
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	---

2	(1)	kg	(2)	人	(3)	時速	km	(4)	日間
	(5)		(6)	cm^2					

3	(1)	個	(2)	
---	-----	---	-----	--

4	(1)	回	(2)	点	(3)	通り
---	-----	---	-----	---	-----	----

5	(1)	%	(2)	:	(3)	g
---	-----	---	-----	---	-----	---

6	(1)	g	(2)	cm^3
---	-----	---	-----	---------------

得点	
点	点

帝京八王子中学校

平成27年度入学試験問題
解答用紙 (第3回A)

算数	受験番号		氏名	模範解答		

1	(1)	422	(2)	6.2	(3)	$\frac{1}{35}$	(4)	78.28 L
---	-----	-----	-----	-----	-----	----------------	-----	---------

2	(1)	1400 kg	(2)	45 人	(3)	時速 4.8 km	(4)	15 日間
	(5)	23	(6)	742 cm ²				

3	(1)	180 個	(2)	98910
---	-----	-------	-----	-------

4	(1)	9 回	(2)	24 点	(3)	3 通り
---	-----	-----	-----	------	-----	------

5	(1)	4 %	(2)	3 : 5	(3)	70 g
---	-----	-----	-----	-------	-----	------

6	(1)	3474 g	(2)	10.8 cm ³
---	-----	--------	-----	----------------------

各5点

得	
点	点